



議員 正一 まさいち
三村 みむら

田園の町やぶさきの農業振興対策

強い農業推進と魅力的商品開発

農業振興対策について

三村 ①農業従事者の高齢化と担い手のない農家が

増加する中で農業の現状認識と、今までの施策、又今後の対策の為に個々の農家の意向の把握について伺う。②町としての特産品の開発についての考えを伺う。③生産調整の達成の為に飼料用米やWCS等の計画とライスセンターの設置についての考えを伺う。

三村 ①農業従事者の高齢化と担い手のない農家が、認定農業者の掘り起しに力をいれており、平成27年度末には150名まで増やすことができました。また、新規就農者の奨励会や先輩農業者の紹介、情報交換の場の提供などの各種支援策、さらに、農業法人の支援策として設立準備資金補助の交付、共同でキュウリのパイプハウス建設に町上乗せ助成、種子購入代金の半額助成等の支援策を行っています。



WCS収穫作業

農家アンケート調査は地域農業の状況把握、農業施策推進のために検討します。

町の特産品開発は官民連携により進め、道の駅基本計画にも入れ、魅力的な商品開発を進めます。減反目標面積を達成するためにも、国が推進する新規需要米推進を図ります。

高齢者等の買い物弱者対策について

三村 ①高齢の為に車の

運転を止めた方や運転する方がいない為に買物に不自由をしている方の環境整備について。②支援を必要としている方々の実態調査の有無や人数について伺う。③町と連携しながら、支援できる方々とのネットワークづくりをする事が町の役割と思うが考えを伺う。

三村 ①高齢の為に車の運転を止めた方や運転する方がいない為に買物に不自由をしている方の環境整備について。②支援を必要としている方々の実態調査の有無や人数について伺う。③町と連携しながら、支援できる方々とのネットワークづくりをする事が町の役割と思うが考えを伺う。

町長 地域の援護を必要とする世帯は、70歳以上の独居世帯は429名、75歳以上の高齢者のみの世帯では195世帯395名です。買い物弱者支援事業には買い物等にも利用できない健康センターの無料健康バス、重度障害者へのタクシー券交付、配食サービスふれあい弁当事業で月2回1食につき200円利用者負担等を実施しています。

今後は買い物弱者を支援する事業に「デマンドバス」の運行を進めます。

町道の整備対応について

三村 町道の整備について、安全で安心な町、町

民満足度の向上の為に1日も早い整備を願って質問します。①陳情件数、総延長距離と整備単価、必要予算額は幾らか伺う。②今年度の現道舗装の予定は一路線との事ですが、その他の町道整備計画についてと予算配分の再検討の可能性を伺う。

町長 生活道路整備事業は住民満足度の高い事業であると認識しています。平成17年度から事業を開始し、平成28年3月末現在、未整備路線数は60路線あります。また、「農業基盤整備促進事業」では平成25年交付率100%5路線、平成27年交付率10%で1路線の整備、平成28年は事業不採択となり本事業の継続が困難な状況になっています。今後の方針につきましては、未整備路線の道路の利用状況、利用者数、特に緊急性を重視した目線から再度調査を行い、財源の範囲内で整備を計画的に推進します。

町政を問う(一般質問)